



みどりの子

令和8年1月号

所沢市立荒幡小学校

校長 小林 雅行

功詐は拙誠に如かず

明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様方の御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年元旦

保護者の皆様方、慌ただしい時間と厳かな時間が交錯する年末・年始、子供たちと共に楽しいお正月を過ごされたことと思います。未来に生きる子供たち一人一人に、夢と希望が一杯に満たされることを願ってやみません。

一年の始まりに当たり、保護者の皆様方に、2つのお願いがあります。

まず1つ目は、我が子に「一年の目標や願い、誓い」を立てさせることです。そして、自分が決めた自分との約束は、何があっても必ず守り通すことの大切さを伝えて欲しいと思います。下の詩は「あきらめないことの素晴らしさ」を唄っています。

念ずれば花ひらく 作 坂村 真民

念ずれば 花ひらく
苦しいとき 母がいつも口にしていた
そのことばを わたしもいつのころからか
となえるようになった
そしてそのたび わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ ひらいていった

2つ目は、我が子に「一生を送るための大切な言葉」を贈ることです。保護者の皆様
が、人生を送る上で大切だと思っていることでも、人生の支えとなっている言葉でもい
いと思います。子は親の背中を見て育ちます。親の考え方や生き様を感じさせること
は、子の一生においてはとても重要なことだと思います。

私は、こんな言葉を聞くと、真実をついているなあ・・・と感じます。

こうさ せつせい し

功詐は拙誠に如かず

(『韓非子』説林上)

巧みにごまかしたものは、^{つたな}拙くても誠意・真心のあるものには及ばないこと。

今日、悪いことを悪いと思わない日本人が少なくないように思います。子供社会でのいじめ、大人社会での振り込め詐欺等、また、年齢に関係なく多発している万引き等は後を絶ちません。誠の心で人に接し、日々の生活に嘘と偽りのない生き方を、荒幡小学校の子供たち、そして、そのご家族や地域の皆様と送っていきたいと思います。

誠実な心で溢れんばかりの荒幡小学校を、教職員共々、そして皆さんと共に作っていきたいと思います。

令和8年が始まりました。学校では子供たちの健やかな成長のために全力で指導してまいります。今年もご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。